

1・2年生の新体制となって初めての公式戦、練習試合ができない環境で臨まざるを得なかった今大会でしたが、緊張とプレッシャーの中で精いっぱい勝負に挑んできた選手のみなさん、お疲れ様でした。そして、「25年ぶりの優勝」を成し遂げた剣道男子団体、剣道女子個人準優勝の遠藤さつきさん、剣道男子個人ベスト8の高橋真生くん、水泳1年女子100M自由形第1位・50M自由形第2位の高梨涼寧^{すずね}さん、1年女子50Mバタフライ第4位・100M自由形第5位の緒方^{つむぎ}紬さん、1年男子50M自由形第6位の村山^{そうた}奏太くん、入賞おめでとう。

さて、大会直前、2年生の個人の決意には、「最後まで諦めないで頑張る」「たくさんの方々から教えていただいたことを思い出し自己ベストを出せるように全力を尽くす」「キャプテンなので、みんなを引っ張る」「高楯のアンパンマンになる」「最後まで“笑顔”」など、それぞれに、内に秘めた熱い思いがありました。大会を終え、皆さん一人一人の心には、どのような思いが残っていますか。最後まで諦めずに頑張れましたか。たくさんの方々の教えを自信に試合に挑めましたか、アンパンマンのようにヒーローになりましたか、そして、最後まで“笑顔”でプレーできましたか。

大会直前の2年1組の学級通信に次のような詩がありました。紹介します。

勝つことも 負けることも 決してカッコイイことじゃない

どんなにぶざまでも 一生懸命に勝るものはない

それを笑えるやつは この世にはいない

一生懸命さがこの世で一番尊い

一生懸命さが人間を大きくする

詩の中にあったように、何事においても、日常の本当に小さなことでも、“一生懸命”にやりきることです。個人でも、チームでも、ただ一生懸命に。皆さん一人一人の今の思いや決意を忘れることなく風化させることなく。その一生懸命さの積み重ねが、やがて、少しずつでも確実な成長に繋がると信じています。がんばれ高中生。

来月16日に、落合の山形市総合スポーツセンターで開催される県中新人南ブロック大会へ出場する剣道部の皆さん、これまで以上に“一生懸命”日々精進を重ね、大会の主管である山形市の代表として、更なる活躍を大いに期待しています。

高中あげて応援します。